

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-105	中学校	保健体育	保健体育	1～3年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
4・大日本	保体・702	中学校保健体育		

I 編修の基本方針

大日本図書の新しい「中学校保健体育」は、

新たな学びを実現する新時代の保健体育教科書です。

知識を活用する力や知識を活かして物事を解決する力が問われる時代に、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために、学習したことを生活に活かせる「生きた学び」を目指し、編修しました。

1 未来につながる教科書

主体的・対話的で深い学びを通して、課題を解決し、学びを生活に活かすことで、現在から未来へと「生きる力」が身に付くように工夫しています。

2 「学ぶ楽しさ」、「わかる喜び」を実現

生徒の興味・関心を引き出し、主体的に学習が進められるように工夫し、確実な知識・技能の定着ができるようにしています。



1

未来につながる教科書

生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現して、明るく豊かな生活ができる力を育みます。

①主体的・対話的で深い学びを実現し、生徒の思考力・判断力・表現力を伸ばします。

●見開きの中で課題解決学習を通した主体的・対話的で深い学びを実現

巻頭に「この教科書の使い方」, 「1時間の学習の主な流れ」を掲載し、保健体育の学習のガイダンスを示しています。

各小単元の構成を統一し、課題解決学習の流れの中で主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫しています。

自分の課題を持って、主体的に考え、話し合いながら深く学んでいきましょう。

① **学習のねらいを確認しよう。**
この単元の学習を通して解決したい課題を特定しよう。

② **導入の活動に取り組みよう。**
学習の目的、身の回りのこと、自分や友達の問題など、身近な疑問から学習をスタートし、疑問を持って学習に取り組ましよう。

③ **いろいろな活動を通して課題を解決しよう。**
本文や資料を活用しながら、いろいろな活動に取り組み、課題を解決しよう。

④ **活用して深めよう。**
学習したことを活用しながら、学びをより深める活動に取り組んでみよう。

⑤ **まとめよう。**
学習したことと、自分の生活のなかにかかっています。

⑥ **毎日の生活に活かそう。**
学習したことを、毎日の生活のなかにかかっています。

5 調和のとれた生活

学習のねらい
●現代社会における健康的な生活の必要性について理解する。
●調和のとれた生活を送るための方法を学ぶ。

つかもう
自分の生活を振り返り、概ね正しいと考える1日の生活グラフをつくってみよう。

話し合ってみよう
「最近、生活のリズムが乱れていて…」と話す友達に対して、あなたはどのように声をかけますか。[図2]を参考に、話し合ってみよう。

活用して深めよう
今後、私たちの生活は機械化や自動化がさらに進むことが予想されます。どのようなことに気を付ければよいのか、「健康」をテーマに考えてみましょう。

各小単位には、導入の活動、本文や資料を活用して取り組む「やってみよう」「話し合ってみよう」などの活動、学びをより深める活動を設定しています。活動に取り組みながら学習を進めることによって、主体的・対話的で深い学びにつながっていきます。

●章ごとの「学びを活かそう」で主体的・対話的で深い学びを実現

学びを活かそう
課外活動の安全なやり方考えよう。

① 生徒が保健体育の「見方・考え方」をはたらかせて思考を深めることができます。
② 記入欄を広く設け、表現力を高められるようにしています。
③ 問いや例示の意図を汲んで活動に取り組みながら、読解力を高められるようにしています。

学びを活かそう
友達やクラスメートと学んだことを話し合おう。

話し合ってみよう
活用して深めよう

学習したことを家庭や地域で活用できるよう工夫しています。

⑥ **毎日の生活に活かそう。**
学習したことを、毎日の生活のなかにかかっています。

家で取り組みたい活動を示しています。

地域で取り組みたい活動を示しています。

2

「学ぶ楽しさ」、「わかる喜び」を実現

①生徒の興味・関心を引き出し、主体的に学習が進められるように工夫しています。

●魅力ある写真と現代的なテーマの口絵



口絵3～口絵4



口絵9～口絵10

●学年ごとにまとめた構成と学習内容をイメージできる章扉

従来の体育編、保健編を分ける構成をやめ、各章を学年ごとにまとめています。

章扉は、体育編、保健編の区別をわかりやすくし、章のイメージや学習内容、小学校、中学校、高等学校の系統性を示しています。



p.2



p.3



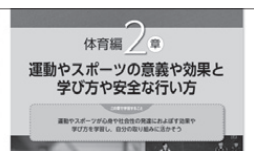
p.15



p.29



p.54



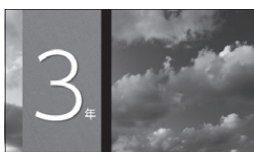
p.55



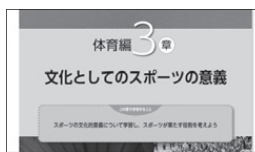
p.71



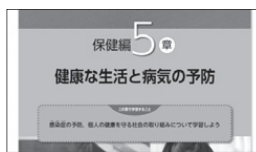
p.89



p.118



p.119



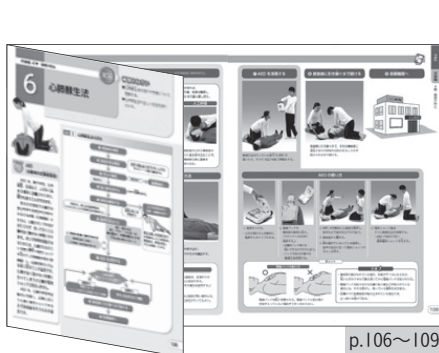
p.131



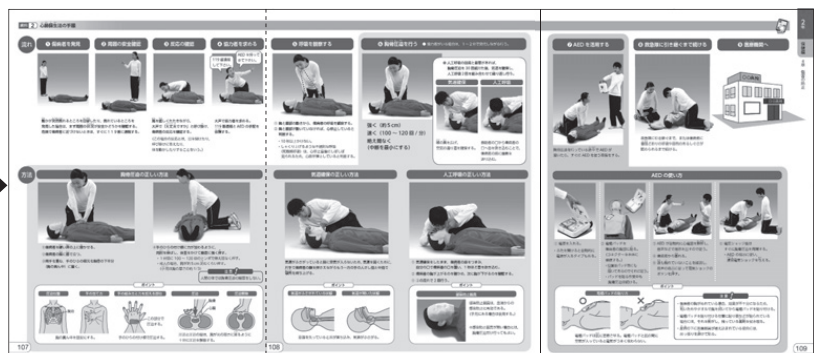
p.149

●実習で使いやすい折り込み

実習では、折り込みを採用し、教科書を広げて全体を確認しながら進めることができますようにしています。



p.106～109



108

Ⅱ 対照表

教育基本法の理念にそって、真理を追求し、豊かな人間性と創造性を身につけることができるように、次のような点に配慮して教科書を編修しました。

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	目次	目次ページでは、見通しをもって学習に取り組むことができるようにしました。(第一号)	目次
	口絵	アスリートや中学生がスポーツで活躍している場面や、中学校生活の親しみの持てる場面の写真を掲載し、健やかな身体を養うことができるようにしました。(第一号)	口絵1～14
	この教科書の使い方	「この教科書の使い方」では、保健体育の学習方法を教科書の流れに沿って丁寧に説明し、学習をサポートできるようにしました。(第一号)	口絵15～p.1
本編	各単元の構成	課題を見つけて解決していく、課題解決的な学習が行えるような構成にしました。(第一号) 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「保健体育の見方・考え方」をはたらかせて考える活動を多く設定しました。生涯にわたって健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力が育まれることを目指しています。(第一号)	全体
	知識及び技能	見開きごとに、本文で基本的な知識をまとめました。さらに、「資料」や「章末資料」などで知識を広げ、深めることができるようにしています。(第一号)	全体
	思考力、判断力、表現力等	各小単元の「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」で、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮しました。(第一、二、三号)	p.5, p.17ほか
	学びに向かう力、人間性等	学年全体の学習を通して、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度が育成されるように配慮しました。(第一号、第四号)	全体
	活用して深めよう	学習したことを活用することで、学びを深め、今後の生活につなげていくことができるような活動を設定しました。(第一号、二号)	p.5, p.17ほか
	トピックス ミニ知識	幅広い知識と教養を身につけるため、生徒の興味・関心を高める話題や読み物を「トピックス」として、生徒の理解がより深まる学習に関連した情報を「ミニ知識」として、精選して掲載しました。(第一号)	p.4, p.5, p.16, p.17ほか
	資料・章末資料	出典の明らかな最新の資料を小単元や章末、編末に多数掲載し、学習内容を理解しやすく深められるようにしました。(第一～五号)	p.10, p.26, p.50ほか
	キーワード、 学習のまとめ	知識の定着を図るため、各小単元においてキーワードで学習内容の振り返りをし、各章末では重要語句や要点の再確認ができるようにしました。(第一号)	p.5, p.14ほか
	「家」「地域」 マーク	学習したことについて、家庭や地域で取り組みたい活動等に、「家」「地域」マークを示しました。(第二号)	p.6, p.96ほか
巻末	「高校生活に向けて」	保健体育の学習を終えて、これからどのような生活を送ろうと思うか、生活の目標を書き込めるようにしました。(第一号)	p.167
その他	特別支援教育・ユニバーサルデザインに配慮した紙面構成	専門家の監修のもと、重要な部分を強調するなどレイアウトを工夫したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりして、読みやすさに配慮しました。また、カラーユニバーサルデザインにも配慮し、色覚のちがいによって学習に支障が出ることがないようにしました。(第一号)	全体
	デジタルコンテンツ	学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、デジタルコンテンツを用意し、対応するページにマークを示しました。(第一号、二号)	p.14, p.47ほか

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-105	中学校	保健体育	保健体育	1～3年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
4・大日本	保体・702	中学校保健体育		

I 編修上特に意を用いた点や特色

1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に最も適した教科書

「主体的・対話的で深い学び」を最も効果的に実現するために、1時間を見開きで構成し、本文と資料を左ページと右ページに分けて示しています。

特長

- ① 学習内容の要素（本文、資料、トピックス、活動など）が点在せず、ストレスなく学習を進めることができます。
- ② 指導する際には、さまざまな授業の行い方に即した幅広い授業展開に適しています。例えば、「話し合ってみよう」などの活動を行う際、左ページの本文を隠して、資料から考察・推測する活動を行い、その後、本文で知識の習得を図るといった授業展開もできます。
- ③ 学習の区切りがわかりやすいため、学習内容を整理しながら理解を進めることができます。また、本文の見出しに参照資料を付しているため、本文と資料との関係がより明確になりました。

保健編 3章 健康な生活と病気の予防

2 がんの予防

学習のねらい

- がんの種類や発症、原因について理解する。
- がんにかかりにくくするためには、どのようなすればよいが考える。

つかもつ

「がん」について、あなたが知っていることはいくつありますか。

● **がんとは**

がんは、日本人の死因の上位で、一生のうち2人に1人がかかるといわれています。

がんは、細胞が分裂する際に異常な細胞である**がん細胞**が増殖する病気です。年齢が上がるにつれて異常な細胞分裂が起こる確率が高くなり、細胞を正常に戻す力が落ちていくことから、高齢になるほどがんにかかりやすくなります。がんは、一部の組織・臓器を除くさまざまな部位に発生し、放置すると転移していきます。がん細胞ができてから自覚症状が出るまでに長い年月がかかりますが、なるべく早く見つけることが悪化を防ぐには有効です。

● **がんを予防するためには**

がんの原因は、がんの種類によって異なります。特に男性では喫煙、女性では感染が主な原因となっています。その他、多量の飲酒や運動不足、食塩のとり過ぎ、野菜・果物の摂取不足も挙げられます。

がんには遺伝的な要因があることも知られていますが、生活習慣を改善し、ワクチン接種などによって感染のリスクを減らすことで、**がんを予防**することはある程度可能です。また、感染の検査や**がん検診**を受け、早期に発見することによって、治る可能性が高くなります。

がんにはいろいろな治療法があり、それぞれの長所・短所を考慮して**治療法を選択**することになります。治療中や回復後には、本人や家族の心身の苦痛を和らげるとともに、再発や仕事、日常生活、経済面などに関する不安に対処して生活の質を上げるため、専門家の支援や周りの人の協力が必要です。

★1 がん細胞が増殖し発生した場所から、血管やリンパに入り込み、血管やリンパの流れに乗って別の臓器や部位に移動し、そこで増えること。

★2 手術で取りきれなかったがんが再び増えたり、離れたがんが増え大きくなったり、別の場所にもがんが出現しやすくなること。

● **がんの治療法の選択**

がんの場合、治療法に種々の選択肢があり、急性性や治癒率、治療中・治療後の生活の質などを考慮し、本人の希望も踏まえて治療法が選択されます。

なかには、治療効果が明確になっていない治療法（いわゆる民間療法）や健康食品が話題になることがありますが、しっかりとした情報に基づいた判断が望めます。

患者の家族を含め、治療や治療中の生活について不安がある場合は、専門家に相談し、支援を受けることができる施設・窓口があります。

● **がんの早期発見のために**

● **がんの早期発見のために**

● **がんの早期発見のために**

話し合ってみよう

資料3 資料4を参考に、がんにかかりにくくするためには、どのようなすればよいが話し合ってみよう。

資料1 主ながんの種類

資料2 がんができる仕組み

● **正常な細胞**

● **異常な細胞ができる**

● **異常な細胞が増殖する(がん化)**

● **異常な細胞がたまりになり、周囲に広がります**

● **血管などに入り込み、全身に広がる**

資料3 日本人のがんの原因

性別	喫煙	受動喫煙	感染	飲酒	放射線	遺伝
男性	29.7%	0.2%	9.0%	1.9%	0.4%	0.7%
女性	0.0%	0.0%	6.0%	2.5%	1.2%	0.4%

● **たばこを吸わない**

● **他人のたばこの煙を避ける**

● **お酒はほどほどに**

● **バランスのとれた食生活**

● **塩辛い食品は控えめに**

● **野菜や果物は不足にならないように**

● **運動に運動**

● **適切な体重維持**

● **ウイルスや細菌の感染予防と治療**

● **定期的ながん検診を受ける**

● **身体の異常に気がついたら、すぐに受診する**

● **正しいがん情報でがんを知る**

活用して深めよう

身近な大人に向けて、がんに対してどのように行動すればよいかアドバイスを考えてみましょう。

がん がん細胞

がん予防 がん検診

治療法を選択

●自学自習にも最適

まとまりのある本文・資料により、生徒が授業前や授業後に自学自習を行いやすくなっています。

●参照性の高いレイアウト

複数の資料を比べて読み取る活動を行う際に、参照すべき資料がまとまっているため、活動に集中しやすくなっています。

●さまざまな生徒への対応

文章に集中しにくい生徒にも、本文と資料を分けることで、重要な本文部分に注意を向けられ、文章に集中しやすくなっています。

2 系統的な学びを実現する教科書

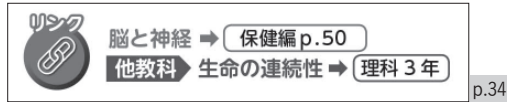
カリキュラム・マネジメントを効率的に実現できるよう、教科内や他教科、家庭・地域とのつながりをわかりやすく示しています。

●小中高連携

章扉では、学習指導要領に示された、小学校、中学校、高等学校を通じた系統性のある学習ができるように、小学校や高等学校の関連する学習内容を示しています。

●教科内、他教科との関連

教科内や他教科との系統的な学びのための学年・教科横断的な学習が充実しています。



●家庭・地域との連携

「家」・「地域」マークを新設し、家庭や地域における健康や安全について考える活動を掲載しています。

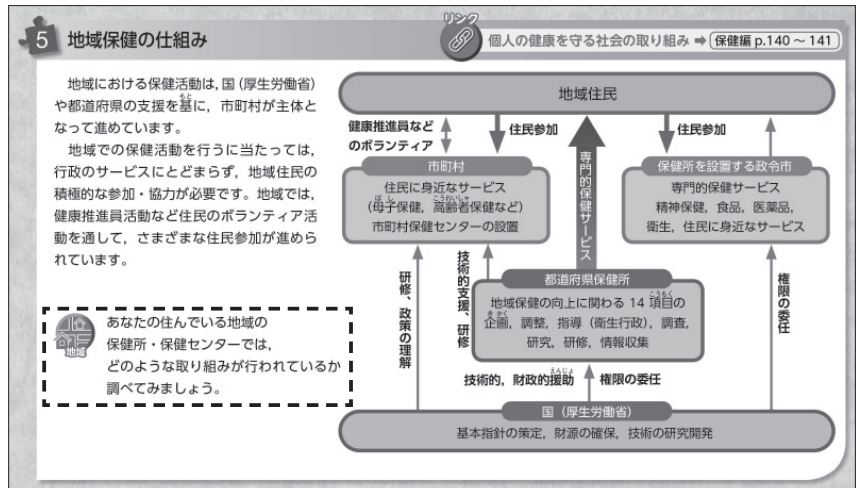
1 日頃から備えておくこと

日頃から備えておくことをチェックしてみましょう。

- 必要なものをまとめて、持ち出せるように準備している。
- 災害発生時の家族の緊急連絡方法と避難場所を確認している。
- 家の内外の危険な場所を、確認して改善している。
- 家具の転倒・落下防止のために器具で固定している。
- 窓ガラスなどに散乱防止シートを張っている。
- 子供、高齢者や障がいのある人などの安全のために、日頃から近所の付き合いを深めている。

2 家の人と一緒に確認してみましょう。

p.103



p.145

3 現代的な諸課題に対応した教科書

オリンピック・パラリンピック

これまでの大会で活躍した日本人選手たち

口絵7～口絵8

オリンピック・パラリンピック教育

オリンピック・パラリンピックの内容を充実させ、スポーツの意義や価値等の理解につなげられるよう工夫しています。

防災教育

自然災害に対する備えと共に、いざというときに命を守るためにどのように行動すればよいかについて丁寧に記述しています。

防災教育

自然災害に対する備えと共に、いざというときに命を守るためにどのように行動すればよいかについて丁寧に記述しています。

102

p.102～103

食育

全体を通し食事の重要性を示すとともに、健康を支える食事について特設ページを設け、食事の大切さについて興味・関心を高め、毎日の生活のなかで活かせるようにしています。



口絵11～口絵12

道徳教育

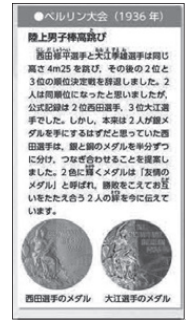
さまざまな人々が生きている社会のなかで、お互いに認め合い、尊重し合うことの大切さを実感することができるようにしています。



p.43



p.144



p.130

情報活用能力・情報モラル



口絵13～口絵14

スマートフォンの普及により、より一層求められている情報活用能力・情報モラルについて、保健体育科として効果的に学習できるように特設ページを新設しました。

ストレスへの対処の技能



p.47



p.51

新学習指導要領で新たに追加されたストレスへの対処の技能について、代表的な腹式呼吸のほか、筋弛緩法などさまざまな方法を掲載しています。

中学校保健体育 WEB

WEBマークが示されている箇所は、中学校保健体育WEBにて学習に役立つ動画や資料を見ることができます。

4 特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮した教科書



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

- カラーユニバーサルデザイン、UDフォントの使用、読みやすい位置での改行など、特別支援教育での教科書の使用に配慮しています。
- 教科書のデザインやレイアウトについては、特別支援の観点から、専門家による監修を行っています。

教科書の特徴

教育基本法の遵守	・教育基本法第1条に示された「教育の目的」を実現するために、同2条の「教育の目標」の達成を目指して編修しました。
学習指導要領の遵守	・保健体育科の体育理論、保健分野に記載された項目を全て取り上げました。
主体的・対話的で深い学びへの対応	・全ての章で、自らの課題を発見し、主体的に取り組むなかで、資料から読み取る、友達と話し合うなど、対話を通して思考を広げて深めていく活動等を通じて、深い学びが実現できるように配慮しました。(p.5, p.17ほか)
知識及び技能の習得	・知識の定着を図るため、各小単元においてキーワードで学習内容の振り返りをし、各章末では重要語句や要点の再確認ができるようにしました。 ・デジタルコンテンツで「まとめの問題」を用意しました。(p.14, p.28ほか)
思考力、判断力、表現力等の育成	・教科書全体で、課題解決学習を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮しました。 ・各章末の「学びを活かそう」では、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮しました。(p.13, p.27, p.52ほか)
学びに向かう力、人間性等の涵養	・口絵では、生徒が保健体育を学習する重要性を理解し、自分のこととして捉え、主体的に学習に取り組む態度が養われるようにしました。(口絵1～17, p.1) ・導入の活動「つかもう」では、生徒に身近な題材を取り上げることで、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるようにしました。(p.4, p.16, p.30ほか)
現代的な諸課題への対応	・現代的な諸課題として、オリンピック・パラリンピック教育、防災教育、情報活用能力・情報モラル、ストレスへの対処法などに配慮しました。(口絵7～8, p.98～103, 口絵13～14, p.47ほか)
評価への対応	・単元末の「学びを活かそう」, 「学習のまとめ」で知識・技能だけでなく、思考力、判断力、表現力等も育成されるように配慮しました。(p.13, p.14ほか)
配列・分量	・単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、資料や知識は過多にならないよう、発達段階と学年に応じて精選しました。単元内の活動は、授業時間を考慮しながら、知識・技能を定着させるように配慮しました。
色覚特性への配慮、特別支援教育、ユニバーサルデザインへの対応	・色覚のちがいによって学習に支障が出ることがないようにカラーユニバーサルデザインをふまえた色遣いを工夫し、誰にでもわかりやすい紙面にしました。 ・専門家の監修のもと、レイアウトや文章の改行位置を工夫したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりして、できるだけ読みやすくなるようにしました。
家庭・地域社会との連携	・家庭や地域において保健体育で学習したことを活用できるよう、該当箇所に「家」・「地域」マークを新設しました。(p.6, p.96ほか)
ICT教育への対応	・無料のデジタルコンテンツを豊富に用意し、対応するページにマークを示しました。(p.14, p.47ほか)
道徳教育との関連	・生命尊重、家族愛、伝統と文化の尊重、国際理解など、道徳教育との関連に配慮しました。(p.17, p.36～37, p.42, p.146ほか)
他教科との関連	・理科、技術・家庭、社会科など、他教科と関連が深いところでは、関連がわかるよう、「リンク」マークを付しました。(p.20, p.30ほか)
印刷・製本	・環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。表紙は丈夫で汚れにくくなるように加工しました。製本は生徒にとって安全で、奥までよく開くアジロ綴じを採用しています。

II 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所 ページ	配当時数
1年	体育編1章 運動やスポーツの多様性	[体育分野 第1学年及び第2学年] 2内容H 体育理論 (1)	3～14	(3)
	①運動やスポーツの必要性和楽しさ	ア (ア), イ	4～5	1
	②運動やスポーツへの多様な関わり方	ア (イ), イ	6～7	1
	③運動やスポーツの多様な楽しみ方	ア (ウ), イ	8～9	1
	保健編1章 健康な生活と病気の予防	[保健分野] 2内容 (1), 内容の取扱い (1), (11)	15～28	(5～6)
	①健康の成り立ち	ア (ア), イ	16～17	1
	②運動と健康	ア (イ), イ	18～19	1
	③食生活と健康	ア (イ), イ, 内容の取扱い (3)	20～21	1～2
	④休養・睡眠と健康	ア (イ), イ, 内容の取扱い (3)	22～23	1
	⑤調和のとれた生活	ア (イ), イ	24～25	1

1年	保健編 2章 心身の発達と心の健康	[保健分野] 2内容(2), 内容の取扱い(1), (11)	29~53	(10~11)
	①体の発育・発達	ア(ア), イ	30~31	1
	②呼吸器官・循環器官の発育・発達	ア(ア), イ, 内容の取扱い(6)	32~33	1
	③生命を生み出す体への成熟	ア(イ), イ, 内容の取扱い(7)	34~37	2
	④思春期の心の変化への対応	ア(イ), イ, 内容の取扱い(7)	38~39	1
	⑤考える心・感動する心の発達	ア(ウ), イ	40~41	1
	⑥人との関わりと自分らしさ	ア(ウ), イ	42~43	1
	⑦欲求への対処	ア(エ), イ	44~45	1
	⑧ストレスへの対処	ア(エ), イ, 内容の取扱い(8)	46~47	1~2
	⑨心と体の関わり	ア(エ), イ, 内容の取扱い(8)	48~49	1
2年	体育編 2章 運動やスポーツの意義や効果と 学び方や安全な行い方	[体育分野 第1学年及び第2学年] 2内容H体育理論(2)	55~70	(3)
	①運動やスポーツが 心身や社会性におよぼす効果	ア(ア), イ	56~57	1
	②運動やスポーツの学び方	ア(イ), イ	58~59	1
	③安全な運動やスポーツの行い方	ア(ウ), イ	60~61	1
	保健編 3章 健康な生活と病気の予防	[保健分野] 2内容(1), 内容の取扱い(1), (11)	71~88	(6)
	①生活習慣病の予防	ア(ウ), イ, 内容の取扱い(2)	72~73	1
	②がんの予防	ア(ウ), イ, 内容の取扱い(2)	74~75	1
	③喫煙と健康	ア(エ), イ, 内容の取扱い(4)	76~77	1
	④飲酒と健康	ア(エ), イ, 内容の取扱い(4)	78~79	1
	⑤薬物乱用と健康	ア(エ), イ, 内容の取扱い(4)	80~81	1
	⑥喫煙, 飲酒, 薬物乱用のきっかけ	ア(エ), イ, 内容の取扱い(4)	82~83	1
	保健編 4章 傷害の防止	[保健分野] 2内容(3), 内容の取扱い(1), (11)	89~117	(8~10)
	①傷害の発生要因と防止	ア(ア), イ	90~91	1
	②交通事故の要因と傷害の防止	ア(ア)(イ), イ	92~95	1
	③犯罪被害の防止	ア(ア)(イ), イ	96~97	1
	④自然災害による傷害の防止	ア(ウ), イ	98~103	1
	⑤応急手当の基本	ア(エ), イ	104~105	1
	⑥心肺蘇生法	ア(エ), イ	106~109	1~2
⑦出血があるときの応急手当	ア(エ), イ, 内容の取扱い(9)	110~111	1	
⑧外傷の応急手当	ア(エ), イ, 内容の取扱い(9)	112~113	1~2	
3年	体育編 3章 文化としてのスポーツの意義	[体育分野 第3学年] 2内容H体育理論(1)	119~129	(3)
	①スポーツの文化的意義	ア(ア), イ	120~121	1
	②国際的なスポーツ大会の文化的な役割	ア(イ), イ	122~125	1
	③人々を結び付けるスポーツ	ア(ウ), イ	126~127	1
	保健編 5章 健康な生活と病気の予防	[保健分野] 2内容(1), 内容の取扱い(1), (11)	131~148	(6)
	①感染症の原因	ア(オ), イ	132~133	1
	②感染症の予防	ア(オ), イ	134~135	1
	③性感染症の予防	ア(オ), イ, 内容の取扱い(5)	136~137	1
	④エイズの予防	ア(オ), イ, 内容の取扱い(5)	138~139	1
	⑤個人の健康を守る社会の取り組み	ア(カ), イ	140~141	1
	⑥医薬品の有効利用	ア(カ), イ	142~143	1
	保健編 6章 健康と環境	[保健分野] 2内容(4), 内容の取扱い(1), (11)	149~166	(6~9)
	①環境への適応能力	ア(ア), イ	150~151	1
	②快適な環境の条件	ア(ア), イ	152~153	1~2
	③空気の汚れと換気	ア(イ), イ	154~155	1~2
	④水の役割と飲料水の条件	ア(イ), イ	156~157	1~2
⑤生活にともなう廃棄物の処理	ア(ウ), イ	158~159	1	
⑥環境問題への取り組み	ア(ウ), イ, 内容の取扱い(10)	160~161	1	

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-105	中学校	保健体育	保健体育	1～3年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
4・大日本	保体・702	中学校保健体育		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
16	ヘルスプロモーション	1	[保健分野] 2 内容 (1) 健康な生活と疾病の予防 (1) ア	0.25
44	アンダー・マネジメント	1	[保健分野] 2 内容 (2) 心身の機能の発達と心の健康 (2) ア (エ) 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。	0.25
46	PTSD (心的外傷後ストレス障害)	1	[保健分野] 2 内容 (2) 心身の機能の発達と心の健康 (2) ア (エ) 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。	0.25
50	脳と神経	1	[保健分野] 2 内容 (2) 心身の機能の発達と心の健康 (2) ア (ア) 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達 の時期やその程度には、個人差があること。 (エ) 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。	1
68	マイトレーニングをつくろう！	1	[体育分野 第1学年及び第2学年] 2 内容 H 体育理論 ○運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 ア (ア) 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、 体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの 心理的効果及びルールやマナーについて合意したり、適切な 人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待で きること。	0.5
97	インターネットを利用した犯罪	1	[保健分野] 2 内容 (3) 傷害の防止 (3) ア (イ) 交通事故などによる傷害の多くは、安全 な行動、環境の改善によって防止できること。	0.25
114～115	熱中症の予防と応急手当	1	[保健分野] 2 内容 (3) 傷害の防止 (3) ア (エ) 応急手当を適切に行うことによって、傷 害の悪化を防止することができること。また、心肺蘇生 法などを行うこと。	2
140	世界の人々の健康を守る	1	[保健分野] 2 内容 (1) 健康な生活と疾病の予防 (1) ア	0.25
145	全ての人が健康に生活できる社会	1	[保健分野] 2 内容 (1) 健康な生活と疾病の予防 (1) ア	0.25

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
160	食品の廃棄物	1	[保健分野] 2 内容 (4) 健康と環境 ア(ウ)人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。	0.25
162	体温の調節	1	[保健分野] 2 内容 (4) 健康と環境 ア(ア)身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があること。	0.5
162~163	放射線と健康	1	[保健分野] 2 内容 (4) 健康と環境 ア(イ)飲料水や空気は、健康と密接な関わりがあること。また、飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があること。	1
163	循環型社会の実現に向けて	1	[保健分野] 2 内容 (4) 健康と環境 ア(ウ)人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。	0.5
164	気候変動への対策	1	[保健分野] 2 内容 (4) 健康と環境 ア(ウ)人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。	1
167	クオリティ・オブ・ライフ (QOL)	1	[保健分野] 1 目標 (1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	0.5
合計				8.75

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容